

公益社団法人 白河青年会議所

2016 年度上半期事業報告



目次

1, 2016 年度 新年会	… 3 p
2, 2016 年度 1 月定時総会	… 4 p
3, 2 月定例会「今後のしらかわ地域の展望と(公社)白河青年会議所に期待すること」	… 5 p
4, 3 月定例会「What's JC あなたが変われば世界が変わる！！」	… 6 p
5, 4 月定例会「IT 活用術・より魅力的な発信をしてゆくために」	… 7 p
6, 5 月定例会「ほめる達人育成定例会」	… 8 p
7, 6 月定例会「応急処置を学ぼう」	… 9 p
8, 公益社団法人白河青年会議所 2016 年度観桜会	… 10 p
9, 超花火プロレス大会いじめ撲滅運動 / ASPAC 台湾フリーハグ運動	… 11 p
10, 第 8 回「大昭和祭り」	… 12 p
11, 家族のきずなプロジェクト	… 14 p

■事業名

2016 年度 新年会

■担当

総務委員会

■開催日時／場所

1 月 29 日(金) 19:00～21:00 於/ ホテルサンルート白河 富士の間

■参加人数

メンバー31 名、仮入会者 5 名、来賓 132 名

モニター2 名、事務局員 1 名

■事業概要

白河青年会議所 58 年目を迎え、しらかわ地域の明るい豊かな社会の実現のため、我々の活動・運動を今年度の事業方針を通して、自治体・関係諸団体に認知していただくと同時に、新年の門出を共に祝いました。

■総評

当日午後からの大雪で足元が心配されたが、多くの参加者のもと盛大に行われました。来賓の皆様からご挨拶を頂戴し、さらに安部理事長の挨拶で最高のスタートを切ることができたのではないかと思います。

また、日本青年会議所 山本会頭にもご出席いただき、メンバー一同が刺激を受けました。白河青年会議所ならではのおもてなしができた新年会となりました。



■事業名

2016 年度 1 月定時総会

■担当

総務委員会

■開催日時／場所

1 月 27 日(水) 19:00～20:40 於/ 白河 JC 会館 2 階

■参加人数

メンバー38 名(委任状出席 13 名)、仮入会者 7 名、
外部監査 1 名、2015 年度経理責任者 1 名

■事業概要

会員が一堂に会し、2015 年度の事業報告並びに収支決算、2016 年度事業方針並びに収支修正予算に対し意見・質問を行い、各議案について全会員で審議を行いました。

■総評

2015 年度の報告と 2016 年度の計画に関する総会開催にあたり、従来は本総会までが前年度理事の任期でしたが、昨年の定款変更に伴い 2016 年度から 1 月 1 日より新年度の理事の任期が始まるという形になりましたので、昨年度専務理事(経理責任者)の年本逸人先輩にも 2015 年度決算報告の説明者として御参会頂きました。

当日、議長の任を務めた、片桐君の堂々、はっきりと発する言葉によってしまりある総会ができたと感じます。また、出席者全員が各議案において慎重審議を行うことが出来ました。5 名の仮入会者が参加し、大幅な会員拡大を目指す 2016 年度の門出となりました。



■事業名

2月定例会「今後のしらかわ地域の展望と(公社)白河青年会議所に期待すること」

■担当

企画室

■開催日時／場所

2月24日（水） 19:00～21:00 於/ 白河 JC 会館 2 階

■参加人数

メンバー34名、仮入会者2名、モニター2名 観覧者9名

■事業概要

西白河地方市町村会会長 鈴木和夫氏をお招きして2月定例会「今後のしらかわ地域の展望と(公社)白河青年会議所に期待すること」と題して、白河青年会議所理事長と対談を行いました。今後の西白河地方市町村の展望、人口を増やすための対策について、法人誘致の取り組みについて、これからの白河青年会議所に期待すること等、様々な視点でのお話を聞くことができました。

■総評

テーマについて対談形式で行った本定例会では、白河市の政策や我々白河青年会議所に対しての期待を感じる事ができ、とても熱いメッセージを頂けたと感じました。

人口や収入、教育水準、福祉の充実したまちづくり、人を育てる事の重要性が特に印象的であったと思います。我々が率先して地域に元気をもたらす日本全国どここのまちにも負けない個性的なまちを作っていかなければならないと改めて考えさせられた定例会であったと思います。

また、オープン定例会ということで一般来場者に市役所職員や教育関係者、市議会議員、商工会議所青年部などの各所団体が参加していただきました。



■事業名

3月定例会「What's JC あなたが変われば世界が変わる！！」

■担当

青少年つばさ委員会

■開催日時／場所

3月18日(金) 19:00～21:15 於/ 白河信用金庫西支店（新白信ビル）

■参加人数

メンバー32名、仮入会者4名、モニター2名、観覧者22名（内OB2名）

■事業概要

当会議所歴代理事長であり、福島ブロック会長も歴任した青木大先輩をお招きし、青年会議所の魅力、歴史、自分の成長、仕事に役立った事などを講演頂き、白河青年会議所を理解してもらいより多くの同志を集める機会を設けることを意図した事業でした。

■総評

「青年会議所とは」、「これまでの歴史・活動内容」、「青年会議所の魅力」、「入会することのメリット」、「自身の成長に繋がった点」、「仕事に役立った事」など、入会から卒業するまでの様々な経験を基にした講演内容は、新入会員候補者や来場者に白河青年会議所について十分に理解していただけの内容であったと同時に、現役メンバーにとっても理解を深める機会になりました。



■事業名

4月定例会「IT活用術・より魅力的な発信をしてゆくために」

■担当

情報発信委員会

■開催日時／場所

4月18日（月）19:00～21:15 於/ 白河 JC 会館 2 階

■参加人数

正会員 33 名、仮入会者 1 名、観覧者 5 名

■事業概要

IT 技術に関する講座をリンクスエージェンシー株式会社 渡辺万里子様を招き、活用法について学ぶ研修会を開催しました。

■総評

SNS の利用法を特に「Twitter」「Facebook」「Instagram」の 3 つに絞り、業界動向や模範的な SNS の使用・活用事例を用いて講演いただきました。特に良い活用の事例に関しては、企業 HP などを実際にスクリーンに映し説明、どのような点で優れているか、どのような工夫をしていけばさらに良いものになるかなど、現在の動向を中心に紹介いただいたので、タイムリーでフレッシュな内容を講演から得ることができました。



■事業名

5月定例会「ほめる達人育成定例会」

■担当

未来ビジョン委員会

■開催日時／場所

5月18日（月）19:00～21:00 於/ 白河 JC 会館 2 階

■参加人数

正会員 28 名、仮入会者 1 名、モニター 1 名

■事業概要

講師にほめる達人協会 堀川明子様をお呼びし、ほめることで円滑にコミュニケーションをとる方法についての講演を行っていただきました。

■総評

本定例会では「ほめる」ことに焦点を当てたコミュニケーションスキルアップのための講演を実技を交えて行いました。「ほめる」ということの重要性や役割を教えていただき、ほめることで自分自身にも成長があることを説明いただきました。また、実際にほめる達人検定で行う演習を行うことで楽しみながら講演を聞くことができました。人の美点を発見することでよりコミュニケーションを豊かにする。これは団体においても、事業所においても重要なことで多くの学びを得ることができた定例会となりました。



■事業名

6月定例会「応急処置を学ぼう」

■担当

青少年つばさ委員会

■開催日時／場所

6月18日(土) 12:30～17:00 於/ 白河JC会館2階

■参加人数

正会員25名 モニター2名 観覧者2名

■事業概要

白河広域消防本部の消防士をお招きし、AEDの使用方法を実践的に学びました。

また災害時における怪我等の初期手当の基本等、緊急時の心得などについての知識と技術を実践を通して学びました。

■総評

いついかなる時も冷静に対応できる処置方法を学ぶ為に、白河広域消防本部の消防士を3名講師にお招きして定例会をおこないました。3時間と今までにない長めの定例会でしたが、終盤の質疑応答以外にも疑問に感じた事をその場で都度確認しながら学べた事で、メンバーや一般参加者に時間の長さを感じさせず、集中力が途切れることなく定例会を過ごせた内容となりました。また、講師の消防士の方のお手本をもとに私たちが実践的に学べた事は、とても貴重な経験となり、いざという時の冷静かつ適切な対応に繋げることができると感じました。



■事業名

公益社団法人白河青年会議所 2016 年度観桜会

■担当

未来ビジョン委員会

■開催日時／場所

4 月 23 日（土）19:00～21:00 分 於/ 京橋

■参加人数

正会員 26 名、特別会員 25 名、仮入会者 1 名 モニター2 名 事務局員 1 名

■事業概要

活動の背景には、メンバー同士や多くの人々の協力があり、特に特別会員(OB 会員) の皆様にはいつも陰からの支えとアドバイスをいただいております。そんな特別会員の皆様との交流の場も時には必要。大昭和まつりに向けての連携も高める意図で本年も観桜会を開催しました。

■総評

花見を通じて OB との交流を行いました。また、今回の観桜会は屋外での開催となりました。今年は桜の開花が早く、会場内の桜はすべて散ってしまいましたが、委員会メンバーの機転により会場設営を工夫することで花見の形を維持することができました。

屋外で開催することで、席の移動が自由にできたので、例年以上に先輩たちとの会話が盛り上がった観桜会でした。新人会員にもスポットを当てた設営で、新人メンバーも積極的に先輩と交流を図ることができ、会話にも花が咲いた観桜会となりました。



■事業名

超花火プロレス大会 いじめ撲滅運動

■開催日時／場所

2月26日(金) プロレスラー学校訪問 2月27日(土) プロレス大会

■事業概要

プロレスリングゼロワンが主催する超花火プロレス大会の一環として選手によるいじめ撲滅運動にその趣旨に賛同し、学校訪問や選手との交流会を設営しました。(訪問先は、白河保育園、丘の上幼稚園 第三小学校、白河学園。)土曜日にはプロレス大会の設営、子供達へのプロレス教室などを行いました。

■総評

今回の事業は、いじめ撲滅運動ということで、白河の子供たちに何度でも立ち上がることの大切さを学んでいただくことができました。プロレスラーの力や身体能力を目の当たりにし、驚きや興味をもった子供たちの笑顔、お話をきいて何度も何度も立ち上がって強くなってきたプロレスラーの努力を知ってやる気になっていた子供たちの表情を見ることができました。これから何度も来るであろう壁にぶつかっていける精神力を学ぶことができました。



■事業名

ASPAC 台湾 フリーハグ

■開催日時／場所

6月2日(木)～6月5日(日) 於/ 台湾 高雄

■事業概要

ASPAC 台湾高雄大会に参加の際に東日本大震災でうけたご恩に対しお礼を伝えるため、フリーハグ活動を行い、これらの様子を Youtube にアップロード。全世界の人々が閲覧できるようにしました。(https://youtu.be/bz0w7OULn5k)

■総評

台湾の方へ感謝を伝えるためにフリーハグを行いました。この様子を SNS にアップすることで全世界の人へ白河青年会議所の活動・運動も発信できました。



■事業名

第 8 回「大昭和祭り」

■担当

企画室

■開催日時／場所

4 月 29 日（金）昭和の日 10:00～17:00 於/ 白河市大工町～新蔵町

■参加人数

正会員 32 名、仮入会者 3 名、モニター 2 名

一般来場 20000 名、ボランティア 71 名、出店ブース 61 店舗（75 コマ）

■概要

昭和時代…懐かしい雰囲気と賑わいを感じ、未来に向けての活力をもってもらう。そのような意図から本年も第 8 回目の開催となる大昭和祭りを開催しました。

以下 4 つのコンセプトから祭りを盛り上げる各種催しを行いました。

◆「装」（エリアディスプレイ等）

- 来場者にタイムスリップしたかのような懐かしさを感じてもらう。
提灯、映画看板、クラシックカー、デコトラの展示
大昭和宝探し開催

◆「楽」（昭和再現ブース）

- 今も昔も変わらない人々の活気を感じてもらう。
路上パフォーマンス管理、ステージ運営
投げ餅開催

◆「食」（飲食ブース）

- 懐かしい匂いや味、昔から変わらない伝統や文化を感じてもらう。
出店ブース管理、紅白饅頭プレゼント開催

◆「遊」（体験ブース）

- 懐かしくて楽しい遊び場(縁日)開催
ボランティア管理、記念日新聞、10 年後に届くハガキ、福引開催

■総評

今年で第 8 回大昭和祭りは、この事業の醍醐味である昭和の町並みを地域の方々やボランティアスタッフの協力のもと実現しました。気温は例年に比べ低く、肌寒い日ではありましたが、多くの来場者にお越しいただき、活気ある街並み、夢や希望に溢れた空間を提供できたと感じています。回数を重ねるごとに地域住民の方々の温かい心に触れることができると共に、メンバー同士の結束力を肌で感じられる事業でした。これまでの地域の方々との繋がりは地域の為に活動する我々青年会議所にとってとても大切な宝物です。この大昭和祭りを通して得た経験を今後も事業等に活かしていきたいです。



■事業名

家族のきずなプロジェクト

■担当

情報発信委員会

■開催日時／場所

①きずな音楽会、エピソード展示、食事ブース

4月29日（金）10:00～16:00 於/ 白河市民会館・駐車場

②音楽指導

4月30日（土）8:30～11:30 於/ 福島県立白河旭高校

■参加人数

①きずな音楽会、エピソード展示、食事ブース 来場者 1314名(音楽会)+α

②音楽指導 横須賀音楽隊、福島県立白河高校、福島県立白河旭高校 計90名

■事業概要

訪れた人たちに「感謝の気持ち」や「家族とのきずな」を感じ、再確認できる…そんな空間を作ろうという意図のもと、本事業は3つの催しで構成されたイベントを行いました。

◆感謝のエピソード展示

あなたの家族への感謝の気持ちについて、エピソードを交えて教えてほしい！

募集したエピソードは音楽とともに白河市民会館のホールで展示しました。

◆昔の食事体験

来場者に昔なつかしい食事（芋ごはんや、豆みそなど）を提供。

飽食時代の今だからこそ、昔ながらの食事を食べて、当時の食生活について話したり、

知ったりすることで現代の食生活に感謝をしてもらう…そんなブースを設営しました。

◆家族のきずな音楽会

市民会館大ホールにて、海上自衛隊横須賀音楽隊による音楽会を開催しました。

また、本事業では海上自衛隊横須賀音楽隊の皆様在白河にお越しいただいたことから、地元高校生に、音楽指導をしていただく場を作り、実際にプロとして活躍する音楽隊との交流や演奏のコツを学習する場を設けました。

■総評

①きずな音楽会、エピソード展示、食事ブース

会場全体でもって「家族で参加し楽しんでもらう」という内容については、多くの方に思いを伝えることができました。音楽会は満員御礼、外にも食事体験や大昭和の道すがら訪れた方々で賑わいを見せました。特にきずな音楽会は、家族が揃って楽しめる曲目で、幅広い年代層に楽しんでもらえ、閉演後の開場の一体感は事業の趣旨が多くの人に届いたと感じました。中には涙を流している人もおり、開催側としても感動しました。

②音楽指導

時間も予定より延長となり、どちらも去り際が名残惜しそうな感じが印象的でした。高校生が必死になって技術指導を受ける様子や練習終了後に楽しそうに話している様子は、見ていてとても微笑ましく、これをきっかけに音楽の道に進む子供たちが出たら本望だなと感じさせられました。





制作 2016 情報発信委員会